

「鍋越峠が変わる～国道347号通年通行へ」

宮城県加美町と山形県尾花沢市を結ぶ国道347号が、2016年度にも生まれ変わります。これまでは県境の鍋越峠付近の道幅が極端に狭く、冬季5カ月間の通行止めを余儀なくされてきました。宮城県の道路改良事業が加速し、通年通行がようやく実現する見通しとなったのです。東日本大震災を経て、東西をつなぐ防災ネットワーク道路はますます重要性を増しています。観光と経済の活性化も期待できそうです。カレッジでは、両県北部の歴史を振り返りながら、横軸道路が生み出す新たな交流の可能性を語り合います。

日時:2013年6月8日(土)午後2時半～4時半

場所：やくらい林泉館

宮城県加美町味ヶ袋薬菜原1-70

電話0229-67-3688

要申込・聴講無料

パネリスト:

郷土史研究家(加美町)

銀山温泉女将会会長(尾花沢市)

宮城県北部土木事務所長

本田 一郎氏

小関由紀子氏

後藤 隆一氏

座長・コーディネーター:

宮城大事業構想学部教授

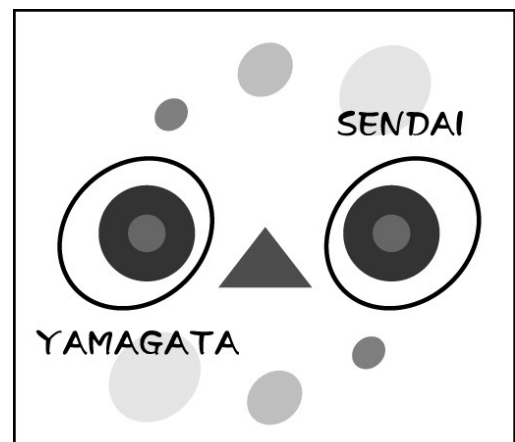
宮原 育子氏

【交流会のご案内】

終了後、隣接する「レストランぶな林」で、座長とパネリストの方々を交えた交流会を開きます。
引き続きご参加ください。会費3000円です。

【仙山カレッジとは】

河北新報社が2003年に創設した公開連続講座で、宮城、山形両県を交互に会場とし、旬の話題とともに県境を超えた広域連携の在り方を考えます。



お申し込みは.....

河北新報社：電話022-211-1710(平日午前10時～午後5時)

電子メール houdou@po.kahoku.co.jp 件名に「カレッジ」と明記ください。